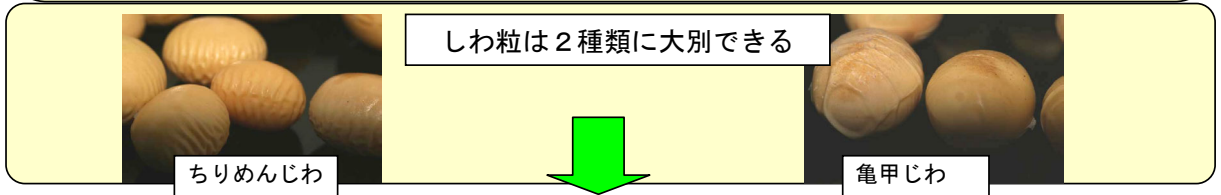
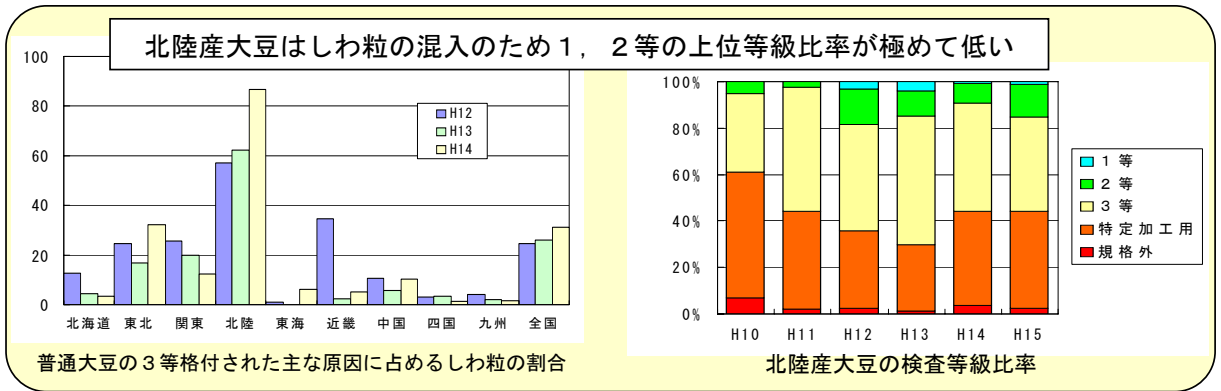


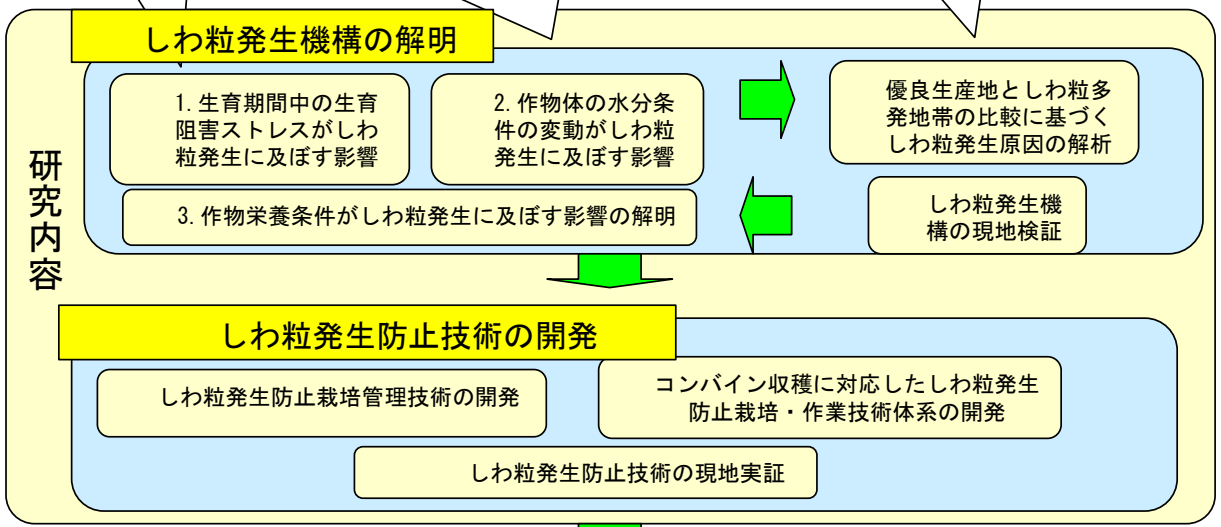
北陸地域に多発する大豆しわ粒の発生防止技術の開発



ちりめんじわ：
子実肥大期における
充実障害によって発生
すると推測される

亀甲じわ：
子実形成から収穫期前後までの乾燥、吸
湿の過程での種皮と子実の収縮、伸張の
繰返しによって発生すると推測される

しわ粒の発生は地域、
生産組織、圃場によ
って異なる



現場レベルで
しわ粒等被害粒を15%以下に低減化

期待される波及効果

- ① 実需者ニーズに応える高品質大豆の大ロット安定供給、農家所得の向上
- ② 水田高度利用(土地利用型農業)の推進による自給率向上